

製品安全データシート

製造者情報

会 社：同和化学株式会社
住 所：神奈川県横須賀市内津1-4-17
担当部門：営業部 石黒 和之
電話番号：046-835-6553 FAX番号：046-835-6144
作成年月日：2016年3月10日 全5ページ
整理番号：6001

製 品 名

中性除錆剤 B L A S T O - P r o

物質の特定

単一製品・混合物の区別：混合物
化 学 名：チオグリコール酸アンモニウム
成分及び含有量：チオグリコール酸アンモニウム20%以上
化 学 式：NH₄+HSCH₂COO⁻
官報公示整理番号：既存
(化審法・安衛法)
CAS No：既存

危険有害性の分類

最重要危険有害性：人体に対して刺激性がある。
有 害 性：目、皮膚に対して刺激することがある。
蒸気の吸入は鼻、喉、気管を刺激することがある。
経口摂取すると悪心、嘔吐、腹痛を起こす可能性がある。
環 境 影 響：データ無し
物理的・化学的危険性：本製品は不燃性であり、特に危険性は無い。
混合の危険性：本製品は還元剤であり、酸化剤（例：過酸化水素・ブロム酸ソーダ等）と混合すると酸素を発生し危険である。
場合によっては発火の恐れもある。
分類の名称：分類基準に該当しない。

応急処置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、速やかに眼科医の診察を受ける。
飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し液体を吐き出す。意識がある場合、直ちに大量の水を与え吐かせる。嘔吐する場合は、気管への侵入を防ぐため、頭を低くする。
皮膚に付着した場合：大量の水で洗浄する。
吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移す。必要であれば酸素吸入を行う
症状が続く場合は医師の診断を受ける。
最も重要な急性/慢性の症状と作用
皮膚からの吸収はごく微量である。飲み込むと全身毒性あり。
肺：咳の原因となる炎症 目：結膜炎 肌：刺激、感作 吸入：吐き気、嘔吐
医師への覚え書き/起こりうる危険：全身中毒、心臓と循環反応、呼吸困難
応急措置する者の保護：有害物質に触れないように保護具を着用するなど注意する

火災時の措置

消 化 剤：二酸化炭素、泡状消化剤、ジェット水噴射

物質または混合物から起こりうる特定有害危険性

分解生成物の暴露により、健康に害をもたらす可能性がある。

火災時に発生する物質：一酸化炭素、硫黄酸化物、窒素酸化物

消防士の特別保護具

火災時は、自給式呼吸器を着用。個人用保護具を使用

その他注意事項

未開封容器の冷却には水を噴霧する。

各地域の規制に従って、燃焼残留物と汚染された消火用水を廃棄する。

下水道に汚染された消化剤を流してはならない。

漏出時の措置

少量の場合：ペーパータオルやウエスなどで拭き取り、その後多量の水で洗い流す。

多量の場合：回収可能であれば、ポリ缶などの空容器に回収後、ウエスなどで拭き取り、多量の水で洗い流す。

※ 作業の際には、必ず保護具着用の上で行って下さい。

※※ 漏出物を直接河川や下水に流さない様に注意する。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：目や皮膚に触れないよう、保護具（保護手袋、保護眼鏡等）を着用する
本製品は、金属に触れると着色するため、取り扱う容器はポリエチレンガラス、陶器、ホーロー等を使用する。

注 意：直射日光を避け、冷暗所に密栓して保管する。酸化剤と同一場所で保管しない。保管容器はポリエチレン等の樹脂製、ガラス製、陶器製の容器を使用する。

暴露防止及び保護措置

設備対策：蒸気が発生する取扱場所では、発生源の密閉化または局所排気装置を使用する。取扱場所付近には、緊急時の洗眼及び身体洗浄設備を設置し、位置を明瞭に表示する。

管理濃度：未設定

許容濃度：日本産業衛生学会 未設定

ACGIH 未設定

保護具：眼－保護眼鏡

皮膚及び身体－適切な保護衣、顔面用の保護具を着用

呼吸器－通常の取り扱いでは特に必要ない

手－適切な保護手袋を着用

物理的及び化学的性質

形 状：液体

色：無色、もしくは僅かにピンク色

臭 い：特異臭

引火点・発火点：水溶性の為、非適用

p H：20℃ 6.8～7.4

融点・沸点：不測

密 度：20℃ 1.18 g/m³

水への溶解性：完全溶解

安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の取扱条件において安定である。
6ヶ月以上長期保管すると含量低下がある。
- 危険有害反応可能性 : 強酸化剤と接触すると激しく反応することがある。
発火する恐れもある。
- 避けるべき条件 : 日光、熱
- 接触危険物質 : 強酸化剤、水反応可燃性物質
- 危険有害な分解生成物 : 熱分解により、窒素酸化物、硫黄酸化物、一酸化炭素、
二酸化炭素ガスを発生する。
-

有害性情報

- 急性毒性 : 経口 ラット LD50 = 3500mg/kg (チオグリコール酸アンモニウム)
(RTECS)から、50%含有量換算すると、LD50 = 7000mg/kgになる
ことから、区分外とした。
経皮 データがないため分類できない。
吸入 (ミスト) データがないため分類できない。
- 皮膚腐食性・刺激性 : ウサギ 17.5% (RTECS)皮膚刺激性のデータがあることから
区分2とした。
皮膚刺激 (区分2)
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : ウサギ 17.5% (RTECS)眼刺激性のデータがある
ことから区分2Aとした。
強い眼刺激 (区分2A)
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 知見なし
- 生殖細胞変異原性 : データがないため分類できない。
- 発がん性 : IARC、ACGIH、NTP、EPAに記載がないため分類できない。
- 生殖毒性 : データがないため分類できない。
- 特定標的臓器・全身毒性
(単回ばく露) : 情報がないため分類できない。
- 特定標的臓器・全身毒性
(反復ばく露) : 情報がないため分類できない。
- 吸引力呼吸器有害性 : データがないため分類できない。
-

環境影響情報

- 生態毒性 : データなし
- 残留性/分解性 : チオグリコール酸アンモニウムのデータ
- 分解度 : 100% by BOD (経産省既存化学物質安全性点検)
生分解性は良好である。
- 生物蓄積性 : データなし
- 土壤中の移動度 : 水溶性の為、雨水などにより、土壤中を移動しうると推測さ
れる。
- オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされ
ていないため、分類できないとした。
-

廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
- 容器 : 廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。
- 推奨洗浄剤 : 水

輸送上の注意

国内規制（適用法令）

陸上規制	: 規制なし（非危険物）
海上規制	: 規制なし（非危険物）
航空規制	: 規制なし（非危険物）
国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
品名	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
特別の安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。

適用法令

労働安全衛生法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非該当
化学物質管理促進法（PRTR法）	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 有害物質（施行令第二条） 「アンモニウム化合物」 〔排水基準〕100mg/L（アンモニア性窒素×0.4、 亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量）

注）排出基準に別途、条例等による上乗せ基準がある場合はそれに従うこと。

輸出貿易管理令	: キャッチオール規制（別表第1の16項）第29類有機 化学品HSコード（輸出統計品目番号、2014年1月版） : 2930.90-900 「有機硫黄化合物－その他のもの－2その他のもの」
---------	---

その他の情報

（注）本品を除錆剤以外には使用しないで下さい。

参考文献：

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	厚生労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM	
GHS 分類結果データベース	nite（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）HP
GHS モデル MSDS 情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

- * 記載内容は現時点で入手出来た資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。
- * 注意事項は通常取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- * ご使用前に製品情報を熟読し、製品の性状などを理解した上、ご自身の判断にてご使用願います。
- * すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。